

課題名：ヒューマンデジタルツインを活用した身体モビリティデザイン

研究開発代表者：多田充徳 産業技術総合研究所・人工知能研究センター 研究チーム長

共同研究機関：BionicM株式会社 (<https://www.bionicm.com>)
東京理科大学 (<https://tus-senshin.design/kinoden/>)
福祉のまちづくり研究所 (<https://assistech.hwc.or.jp/>)



目的：生活者の身体モビリティ向上によりWell-being社会を実現

研究概要：世界に先駆けた3つの技術的チャレンジ

- 歩行運動のデータ化：身体モビリティ計測技術
 - IoTデバイスと深層学習を用いた歩行運動の常時モニタリング
- 歩行変容の理解：身体モビリティ予測技術
 - 人のデジタルツインを用いた短期的な歩行変容の予測
 - 計測データの蓄積による長期的な歩行変容の予測
- 歩行能力の向上：身体モビリティデザイン技術
 - 適切な歩行補助具の選定による身体モビリティの向上
 - アクセシブルなまちづくりによる身体モビリティの向上
 - 歩行情報の情報サービス化による身体モビリティの向上

目指す将来像（5年後を目安とする）：

- IoTデバイスを用いた日々の歩行運動のさげないモニタリング
- 歩行情報の個人・社会循環によるWell-being社会の実現

期待する共同研究・事業連携先：

- 身体モビリティ情報の活用やサービス化に興味を持つ企業

連絡先：多田 充徳 (m.tada@aist.go.jp, <https://www.airc.aist.go.jp/dhrt/>)

